

# 「柚子ものがたり」

益田市二川公民館

## 1 二川地区の概要

人口 210人 世帯数 112世帯  
高齢化率 54.8%

### (1) 桜、柚子、温泉の町二川

春には、沢山の桜が咲き、特産の柚子の白い花が咲き、一年中温泉の湯けむりが漂う静かな町二川。

一億円ふるさと創生事業で掘りあてた「美都温泉」は湯質も良く、多種多様なイベントがあり、地元野菜の産直市なども有り、賑っている。

特産の柚子は昭和 52 年頃から植え付けが始まり、島根県で一番の出荷量をあげている。高齢化で休耕田が増える中、地元の企業さんが、あっち、こっちの休耕田に柚子を植えて、それぞれに地区名を入れた看板を立て環境的にも景観的にも良くなり、柚子の町になって来ている。



宇津川



板井川

二つの川地名を合せ 「二川」

### (2) 高齢化率の進む二川

平成 25 年 3 月に二川小学校が閉校になり子供の声がしなくなった。現在、後施設利用として、青少年宿泊施設を建設する方向で動いている。

## 2 事業の趣旨

### (1) 特産品柚子に関わる地域の人達の新たなネットワーク作り

- ・ 絵てがみ教室
- ・ トールペイント教室
- ・ 視聴覚研究会
- ・ 地元企業
- ・ 柚子生産者
- ・ 飲食部会
- ・ 木造建築士



生産者との話し合い

各団体の横の繋がりを深める

### (2) 特産品の創出

幻の柚子プリン試作⇒商品化

- ・ 閉校になった当時の小学生が作った柚子プリンの復活

### (3) 柚子の歴史を残す

紙芝居、ビデオ撮影により柚子の歴史を残す。

## 3 具体的な取組内容

- ・ 絵てがみさんによる紙芝居作成
- ・ 大工さんによる紙芝居の木枠作り
- ・ 木枠にトールペイントさん絵付け
- ・ 歴史、一連の流れをビデオ撮り
- ・ 柚子生産者さんとの話し合いで歴史を探る
- ・ 飲食部会と試食を兼ねた交流会
- ・ イベントでプリンの試食
- ・ 飲食店でプリンの提供
- ・ 柚子苗木の植え付け
- ・ 柚子木の鉢植えづくり

#### 4 評価と成果

##### (1) 諸団体の関わり

- ・一つの目標に向かって進むことでコミュニケーションが取れて行った。

みんなで笑顔



##### (2) 試行錯誤の柚子プリン出来上がり

- ・イベント、飲食店等で色々な人の感想を聞くと甘さ、滑らかさ、柚子味が良く販売を希望される人が多い。



柚子プリン試作

##### (3) 柚子を身近に感じてもらう

- ・鉢植え
- ・市、県の荒廃地への苗木を植え付け地元企業と協力し休耕田を生かす

柚子鉢植え



##### (4) 紙芝居の完成



紙芝居

#### 5 今後の課題と見通し

- (1) 柚子プリンを商品化にする手法を探す
  - ・試食先も増やす。
  - ・イベントで販売出来るように取り組む。
- (2) 柚子の鉢植えを産直市で販売
  - ・飲食店に配った鉢を見回り販売の聞き取り。
- (3) 紙芝居の枠の利活用
  - ・様々な地元の歴史を紙芝居で残す。
  - ・紙芝居をビデオで残す。
  - ・出来上がった紙芝居、ビデオをイベント等で披露する。
- (4) 休耕田・荒廃地に柚子を植え付ける事で環境的にも景観的にも良くなる
  - ・企業に引き続き柚子木の管理をお願いする。



柚子の花



二川柚子園

(文責：二川公民館主事 増野美智恵)